

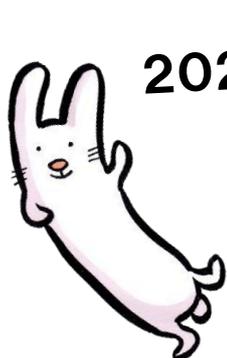
令和4年度
図書だより
第8号

二中の本だな

令和5年1月13日
小平第二中学校 図書館発行
学校図書館協力員 松下和花子



3学期が始まりました。新しい年に目標を決めた人も多いのではないのでしょうか。3年生にとっては卒業までのカウントダウンが始まりますね。悔いの少ない生活を送ってほしいと思います。今年もみなさんが新しい発見や豊かな読書体験ができるよう、二中図書館でお待ちしております。



2023年は卯年

今年の干支の卯（以下ウサギ）です。みなさんはどのくらいウサギについて知っていますか。日本では昔から「ウサギは月でお餅をついている」と言われたり、「ウサギとカメ」のイソップ寓話や「因幡の白兔」の神話などの影響からか親しみのある動物ですね。

みなさんは広島県にある「大久野島」という島が「ウサギの島」と呼ばれていることを知っていますか。国立公園に指定され、約500～600羽の野生のウサギが棲息して観光スポットになっているそうです。しかし、別名「毒ガスの島」とも呼ばれています。図書館前にウサギに関する新聞記事を掲示しています。そこに理由が載っていますので、読んでみてください。

ねんせい おうえんき かく
がんばれ 3年生！ 応援企画
1/16（月）～



来館した3年生限定でもらえるお守り。
葉として使えます。
図書委員会の1.2年生の有志メンバーで作ります。
お好きな模様をどうぞ。



えいがか にかがみ
映画化で人気再来



『かがみの孤城』 辻村深月
ポプラ社／2017年
913ツ

〈内容〉 学校での居場所をなくし、閉じこもっていたところの目の前で、ある日突然部屋の鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような不思議な建物。そこにはちょうどどこそこと似た境遇の7人が集められていた—

〈感想〉 ミステリーのように読み進めていきますが、後半になるほど登場人物たちの心の痛みが自然と自分の中に取り込まれていきます。大人になってから読みましたが、中学生の頃出会ったかっと思ふ1冊です。二中図書館には2冊あります。

たいだん
対談エッセイはいかがでしょう



『ええかげん論』
土井善晴、中島岳志
ミシマ社／2022年
914ド

〈内容〉 「ええかげん」とはちょうどいい具合という意味です。コロナ、戦争、気候変動、政情不安…私たちが見失っているのは「ええかげん」ではないか。料理研究家の土井さんと大学教授の中島さんそれぞれが探求してきた「ええかげん」論について語っています。

〈感想〉 講演会の会場でお話を聞いているようです。現在の社会情勢には不安がありますが、まずは一人一人が自分と丁寧に向き合い、コンディションを整えていくこと、その過程の大切さを学びます。たびたび出てくる土井さんと中島さんの笑顔のお写真からも元気がもらえます。保護者の方にもおすすめです。

冬休みの本の返却日は、1月13日(金)です。忘れずに返しましょう。

